

経営比較分析表（令和6年度決算）

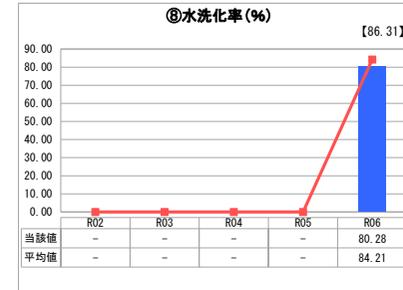
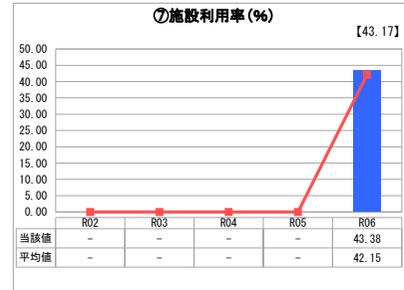
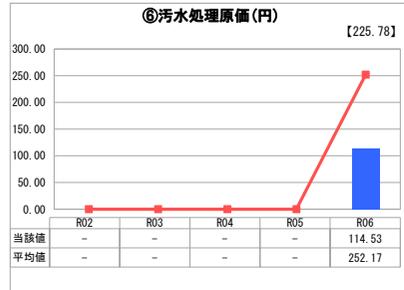
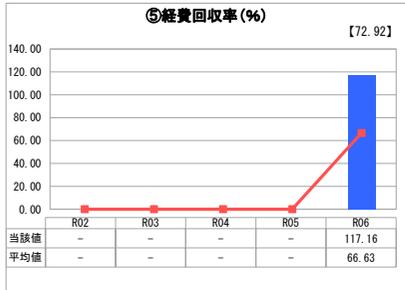
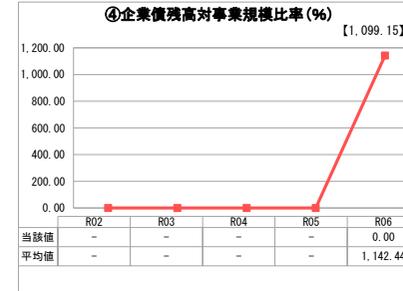
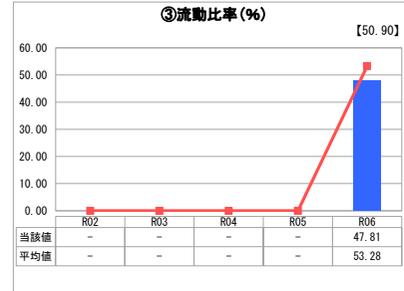
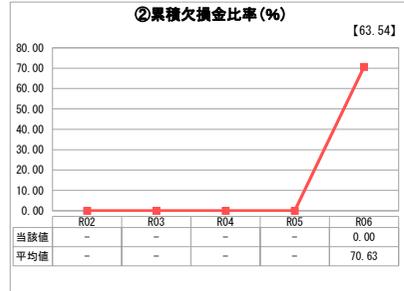
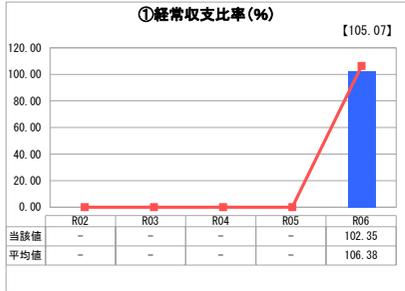
高知県 芸西村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	72.75	91.23	95.05	2,200

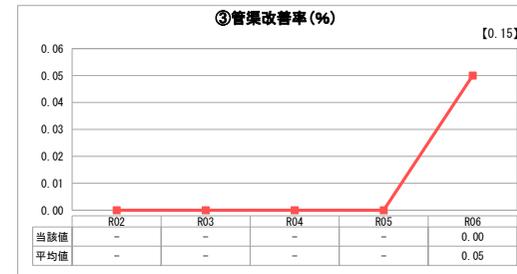
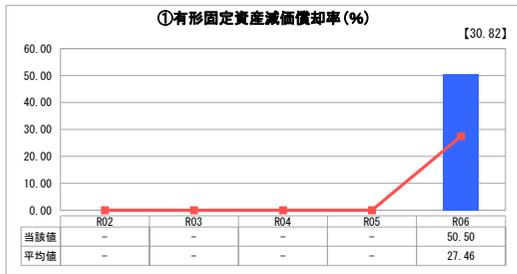
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,570	39.60	90.15
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,236	1.20	2,696.67

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度から法適用し、地方公営企業法に沿った経営を行っている。経常収支比率に関しては全国平均を僅かに下回っているものの、経常利益が生じている。経費回収率及び汚水処理原価は平均値より良好であり、効率的な汚水処理が行われている。要因としては維持管理業務を民間に委託し、長期契約にするなど経費削減に努めた結果である。今後は施設の老朽化に伴う修繕費の増加など、収益の悪化も見込まれるため注意が必要である。下水道への接続を促し、水洗化率の向上と効率的な汚水処理に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

供用開始から20年以上が経過している。処理場、ポンプ場等は機械、電気設備の一部が標準耐用年数を迎えていることから、令和5年度に策定した第1期ストックマネジメント計画に沿った対策工事を進めている。管渠については小口径の塩ビ管がほとんどを占めており、標準耐用年数は概ね50年以上とされていることから、現在は目立った老朽化は見られない。

全体総括

供用開始から20年以上が経過し、水洗化率は順調に上昇している。経費回収率及び汚水処理原価も良好に推移しており、経費の削減は図られている。しかし、今後は施設の老朽化や資機材の高騰に伴い、維持管理費の増高が想定されることから、慎重な経営を行わなければならない。処理施設及び管渠の更新工事を適切に行いつつ、下水道への接続を促し、収支の改善に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。